

枚方市教育委員会
教育長 尾川 正洋 様
教職員課長 高山 和子様

枚方教職員組合
執行委員長 有馬 昌代

市教委「教員不足への対応検討事項」についての申し入れ

市教委は、9月6日教育委員会会議、9月15日市議会・教育子育て常任委員会に対して、「教員不足による学校運営上の課題への対応について」を示しています。

この内容は、教員確保が困難になっていることを理由に、市費講師による実施は講師が確保できた範囲で行うとする方向を検討しようとするもので、保護者や現場の教職員にとって全く容認できるものではありません。

この検討の方向性で行くならば、さらに教育条件、勤務条件が悪化し、より講師確保が困難になり悪循環に陥ることは明白です。

一方、市教委に対して何度も要求してきた、業務削減と学校の裁量権の拡大による抜本的な働き方改革の策定、講師の勤務条件の向上、講師確保策について、当事者の声や、現場の声を直接反映しながら策定することなどが不十分な状態は変わっていません。

また、支援教育の取り組みの面からも、市教委の今年度の取り組みの前提が大きく崩れることにもつながり、通常学級にとっても、支援学級にとっても極めて重大な影響を及ぼすものと言えます。

現在の教員不足問題は、極めて深刻であり、今だかつて経験したことのない危機的な事態に直面していると言えます。この事態を引き起こしているのは、この30年間の、上からの教育政策に原因があることは明白です。

危機的な事態に対応するためには、従来の施策の延長のうえでは困難なことは明らかであり、既存の組織や政策策定では困難であることを突きつけています。

その際、保護者・市民向けにも教員不足による現場の困難な実態を積極的に明らかにして、市教委が前面に立って理解を得る取り組みをすることが不可欠です。

枚方教職員組合として、以下の点について、緊急に申し入れを行い、市教委に抜本的な対応を求めるものです。

記

1. 講師確保の困難が予想されるので、市費講師の事業は「確保できた範囲で実施」の方向性を検討するのではなく、市教委として責任をもって、講師確保の取り組みを行うこと。
2. 教員確保のための抜本的な対策を検討すること
 - ① 講師や応募に応じてもらえなかった免許所有者から直接、教職への応募を敬遠する理由などを意見集約して、具体的な原因、背景を分析・検討すること。
 - ② 当事者の声をもとにして、抜本的な対応策、教員確保策を策定すること。
3. 市費講師の勤務条件の見直し、待遇などの向上のために見直しを行うこと。その交渉のための場を責任をもって設定すること。
4. 当面緊急に、市教委が学校に実施を求める課題を中止するとともに、学校への指示・拘束について、学校に選択権、裁量権を最大限に与えて対応できるようにすること。
5. 府や国からの課題についても、研究指定なども含めて実施の中止・返上、大幅な負担軽減策をおこなうこと。
6. 評価育成システム、授業アンケートなどは中止すること。
6. 学校現場の業務負担軽減、長時間勤務解消を抜本的に取り組むこと。
7. 支援教育については、文部科学省の通知を一律に、機械的に適用することなく、従来の対応も含めて可能とすること。

以上